

各都道府県新型コロナウイルスに関する実地研修状況

都道府県名	PCR研修				鼻腔・咽頭拭い液 検体採取研修			備 考
	第1回	第2回	第3回	第4回	第1回	第2回	第3回	
北海道								
青森県								
岩手県								
宮城県								
秋田県								
福島県	11/14 31名 講義「新型コロナウイルス感染症の核酸増幅検査（PCR等）の実地研修に向けて～機器新設コース～」 実技研修 メーカー4社に参加いただき「各機器の説明と実地研修」					9/12 Web研修修了者20名と指定講習会修了者4名(計24名) 講義「新型コロナウイルス感染症に関する基礎知識・感染管理の基 本」 実習「正しいPPE着脱」 シュミレータを使用して「鼻咽喉からの検体採取」		
山形県 (機器新設コース)	10/3 5名(密を避けるため1研修会当たり5名以内に制限) 前半講義は概要とPPE着脱 後半は模擬検体でLAMP法キットを用いて実習「バイオセーフティ」「コンタミネーション防止」「核酸汚染の防止」へ注意事項を確認	10/11 5名 (前回同様の研修)	10/17 5名 (前回同様の研修)	10/24 4名 (前回同様の研修)				
山形県 (行政支援コース)	10/14 3名 前半講義 PCR検査においてバイオセーフティに留意白髪ら偽陽性や偽陰性、ミス防止の注意点 後半 模擬検体を使用した新型コロナウイルス検査の実地研修(見学)							
新潟県					11/15 10名 全行程 150分 講義 50分「鼻腔・咽頭拭い液採取の為に知っておきたい解剖」 実技 計90分「PPE着脱、鼻腔・咽頭拭い液採取方法」他情報交換			講義では、図式やファイバー画像を閲覧しスワブ挿入の実践に即した内容の講演をいただいた。 実技指導はPPEの正しい着脱方法、シュミレータを用いた上咽頭拭い液採取。参加者からは「PPEをつけて検体採取に臨む意識を高めることができ、危険性をもたらすことのないよう再認識できた」と感想が聞かれた。
茨城県								
栃木県	8/30(日) 18名(実務委員5名含む) 座学・検体前処理見学・ビベーター操作見学・試薬調製方法研修 ・意見交換	9/12(土)(下野新聞取材)	10/24(土)	11/15(日)(宇都宮テレビ取材)				全4回の実地研修修了者 総数101名 宇都宮市夜間休日救急診療所での抗原検査の実施協力、クラスター発生支援チームへの臨床検査技師の参加等、協力依頼に栃臨技として積極的に協力している。
群馬県								
山梨県								
長野県					北信地域 4施設での鼻腔・咽頭拭い液の採取および(PPE)の着脱実技講習開催	飯田市 5/22保健所職員による検体採取・PPE着脱講習会実施		・各地域の支部長を中心とした会員、他団体との協力しCOVID-19に対応できている。 ・今後県内における検査増量の普及、実技講習会・検体採取の研修を実施する。 ・他県の先駆的取り組みを導入、新たな取り組みを進める。 ・県、医師会との連携強化する。 ・老人施設への対応、下水のPCR検査等、今後に見込んだ取り組みを進める。
埼玉県								
千葉県								
東京都								
神奈川県	7/31 (Smart Amp法)	8/18 (Smart Amp法)	9/1 (Smart Amp法) (各日1日2回) これまでに53名		「自施設でのOJTが不可能」申請者に鼻腔・咽頭からの採取ならびにPPE着脱の研修をこれまでに2回のOJTを実施			
	8/20 (RT-PCR法)	8/25 (RT-PCR法)	8/27 (RT-PCR法)各回5名計15名					
	8/26 (LAMP法)	これまでに計5回受講者22名						

富山県	1施設2名参加原則、全6回合計23名 10/16(第1回) 10/17(第2回)同研修内容	10/23午前 (第3回)同研修内容 10/23午後 (第4回)同研修内容	10/24(第5回)同研修内容	11/14(第6回)同研修内容	11/28 18名 研修内容 新型コロナウイルスの基礎知識 PPEの重要性についての基礎知識 PPE着脱実習 検体採取時の基礎知識 検体採取実習 質疑応答			【研修内容】 講義 核酸抽出についての基礎知識(10分) 核酸抽出における注意事項(10分) 実技 RNA抽出、RT-PCR実習(150分) 質疑応答
石川県								
岐阜県	9/7 三密を避けるため受講者を絞り、オンライン基礎研修修了者55名のうち 5名参加	9/8 オンライン基礎研修修了者55名のうち 5名参加	9/14・15・28・29計4回同様の研修会を予定している					研修内容 病原体検出マニユアル2019-nCoVVer.2.9.1に従って ・PPE着脱方法・検体採取と保存・材料、機器、器具及び試薬、操作上の注意・RNAの抽出・TaqManプローブを用いたリアルタイムRT-PCR法による遺伝子検査・検査結果の判定・精度管理・試薬調製
(機器新設コース)	10/25 11:45-15:30 9名 講義「核酸増幅法における注意点」 LAMP法実習 抽出・測定の説明 他検査法の紹介				11/29 8名 2部制 (4名×2班に分けた) 研修内容 (自施設で実技指導を受けられない方のみ) 講義：諸注意事項の説明 実技：正しいPPE着脱実技 検体採取の模擬研修 ビデオ講習：新型コロナウイルスの基礎知識と検体採取諸注意の復習			本研修会は翌10月26日の静岡新聞朝刊に掲載されました。
静岡県 (行政支援コース)	10/25 10:00-16:20 12名 講義「咽頭拭い検体採取からRNA抽出について」 Real-time PCRへのアプライ及び実習 コロナPCR検査の説明、機器・器具取り扱いについての講義(座学) 唾液検査処理からReal-time PCRへのアプライ及び実習 Real-time PCRの結果解釈講義(座学)							
愛知県	11/15 23名 講演「県内の感染状況と行政の取り組み」 愛知県保健医療局～大参事徳氏より 実技 PPE・N95マスク着脱方法、鼻腔・咽頭からの検体採取、LAMP法、RT-PCR法について核酸抽出及び核酸増幅の手順を体験				10/11(会員2名非会員3名)講義、参加者間での実技・PPE着脱講習会実施			11/15PCR研修会の模様を翌11/16「中日新聞(三河版)」に掲載 メディカルテストジャーナル12月中旬掲載予定
三重県	11/15 14名(午前7名/午後7名) 講義「COVID-19の遺伝子検査の基礎」 実技「RT-PCR実習 試薬調製・核酸抽出・増幅行程・結果判定の見方等を体験」 情報交換				10/18 10名 スライドを使用した基礎講座 PPE着脱とシミュレータでの実技 参加者同士での実技			11/15 PCR研修会の模様を翌日11/16「中日新聞」「伊勢新聞」に掲載 【研修内容】 オリエンテーション COVID-19に関する遺伝子検査の基礎について(40分) PPEの正しい着脱方法 検体採取と保存方法 RT-PCR実習 各メーカーの試薬・機器の概要説明
福井県								
滋賀県	8/1 滋賀県との共催 講師、実務委員含め計49名 情報共有をかねた講演 「核施設のPCR検査体制現状」意見交換会	8/22 PCR(LAMP法)13名 PPE着脱実践、検体は陽性コントロール、陰性コントロールを用いた。	8/29 行政支援コース 12名 唾液処理方法・RNA抽出方法 分子疫学的手法・PCR実技 リアルタイムPCRのポイント リアルタイムPCRのハンドブックについて		8/1 県内における「検査体制と動向調査」について講演	8/22 検体採取15名 ・N95マスクのフィットテスト ・PPE着脱方法の説明 ・検体採取の実技 ・有熱外来の見学		
京都府	6/14(基礎編)と題して21施設から50名が参加	6/29,7/3,7/8(実技編)基礎編の受講者、各日定員10名			6/14(基礎編)と題して21施設から50名が参加	6/29,7/3,7/8(実技編)基礎編の受講者、各日定員10名		
大阪府	11/7 大阪府との共催(原則1施設1名) 実技研修コース 15名 オブザーバーコース16名	11/21 同様研修会 参加人数不明						【研修内容】 講義 感染症対策について(30分) RT-PCRの原理について(40分) 実技研修 スライドプレゼンにて検査の流れ、メーカーから使用する機器の特徴を(試薬・機器)説明 オブザーバーは見学してポイントを確認。 実地研修コース参加者は3名1組で実技操作。(120分) その後様々な質問、回答、解説を交え、参加者の疑問の解消につながったと思われる。
兵庫県	9/6 兵庫県との共催 Web研修修了者80名中 午前12名午後12名 計24名	今後も同様研修会を計画中						研修内容 ・核酸抽出についての講義(20分)・核酸抽出の実習(50分) ・RT-PCRについて講義(20分)・RT-PCR実習(100分)
奈良県								
和歌山県								
鳥取県								
島根県								
岡山県								

広島県								
山口県	9/5 123名(他職種含め) 県内における検査・稼働状況体制の現状説明 PPE脱着、シュミレータ使用のうえ検体採取手技指導 検体輸送の基礎講義 主義上の注意点や工夫について講演	10/31 第1回と同様の内容で開催予定						
徳島県	10/10 徳島県との共催 基礎研修修了者/自施設においてPCR検査の立ち上げに従事する会員28名 ・県内の検査実績医療提供体制についての報告・意見交換 ・PPE着脱・検査環境の消毒方法							
香川県								
愛媛県								
高知県								
福岡県								
佐賀県								
長崎県	9/12 希望者23名の中から10名 ・PPE着脱方法・検体の取扱い ・検体処理、PNA抽出・試薬調製・TaqManプローブをもちいたリアルタイムRT-PCR法による遺伝子検査							PCRの合間に当会の佐々木大介遺伝子研究班班長より、各検査機器の特徴や利点、PCRとLamp法のそれぞれのメリット・デメリット等、詳細な内容の講義もしていただきました。
熊本県								
大分県								
宮崎県								
鹿児島県	9/13 鹿児島県との共催WEB研修終了者40名中、27名に対し最新機器の原理と機器紹介、PPE着脱講習				9/13 鹿児島県との共催 鼻腔については“痛くない手技” 唾液採取については採取上の注意事項の確認			
沖縄県	7/19 9名の参加者 修了証発行	日付不明 12名	9/27 11名 各自採取した唾液を検体として、検体処理、核酸抽出、PCR反応までの一連操作の研修					